



かけはし

公益財団法人 豊島修練会

事務局：成美教育文化会館（内）

TEL: 042-471-6600 FAX: 042-471-6600

HP「成美教育文化会館」で検索！

平成30年2月（第11号）

「忘れ物」に困っています！

忘れ物に困っている人は、子ども（宿題をやったのに学校に持って行くのを忘れた）から大人（改札口でパスモの忘れに気付いた）、高齢者（コンビニで代金を払おうとしたら財布を忘れた）に至るまで、大勢います。忘れ物をしない「コツ」はないのでしょうか。

アメリカの大学のジェームズ・リーズ博士は、忘れ物について研究しました。リーズ博士は、失敗をする傾向には、ボケ型とドジ型の2種類があることを発見しました。

○ボケ型：記憶力に原因のある失敗です。待ち合わせをすっぽかした、風呂の電気を消し忘れたなど、しなければならないことを、つい忘れてしまうのです。

○ドジ型：注意力に原因のある失敗です。違う雑誌を買ってしまった、行き先の違う電車に飛び乗った、石につまずいて転んだなど、うっかりした失敗です。

また、リーズ博士は、失敗を次の3つのタイプにも分けています。

★スリップ型：動作のミスが原因の失敗です。宿題をファイルにはさんだのに、違うファイルを持っていったなど計画は良かったが、実行の段階で失敗してしまったものです。

★ラプス型：記憶のミスが原因の失敗です。友達に頼まれたものを袋に入れようとしていたら、宅急便の対応をされていて、入れ忘れてしまったなど計画を実行している途中で、計画を忘れてしまったものです。

★ミステイク型：計画の間違いによる失敗です。今日の会合で必要な物だと入れたが、実は役立たない物であったなど、正しく実行していたが、計画が間違っていたものです。

忘れ物は、この3つの★に対策をすると少なくすることが出そうです。

★スリップ型は、確認をすることを心掛けることによってかなり防げます。

★ラプス型は、メモに書いて見やすい所に貼っておいたり、スマホにメモを入れておいたりし、確認するようにすると効果があります。

★ミステイク型の忘れ物を少なくするのは、意外と難しいものです。「何をするのだ（目的、計画）」から、「これが必要なのだ（行動、実行）」と、きちんと計画ができるようにする必要があります。

あなたの、あなたのお子様の忘れ物の傾向は、3つの★のどれが多いですか。多くの人は、★ラプス型が多いのだそうです。ともかく、一番効果があるのは「確認すること」だそうです。余りにも当たり前すぎますが、「簡単」で「当たり

前」のことが、実は大事なのですね。（BOKE 三宅）

★備考★ [成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」「メッセージ」「Q&A」「ほん本ブック」をはじめ「一字荘」「至楽荘」「会館の会場貸出」など様々な情報が閲覧できます。ぜひご利用ください。





活動紹介!



将棋研究会

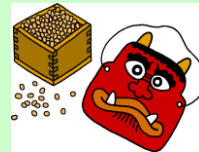
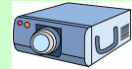
市内の方々のサークルなので、正式には、東久留米市将棋研究会というそうです。昨年の中学生棋士、藤井聡太四段の大活躍による将棋ブームがこの研究会にも押し寄せていて、毎月2回、日曜日の午後、20~30人の方々が集まって熱戦を繰り広げています。

小、中学生の中にも将棋に関心をもつ子が増えていて、市の生涯学習センターで子ども達を対象に、将棋教室のお世話もされているとのこと。



2月の催しから

- 3日(土)13時30分~
第5回銀杏寄席
- 10日(土)13時30分~
第4回フシ3.11東日本大震災
復興支援講演会
- 12日(土)13時~
Teion! The gang
of opera sing
- 18日(日)13時30分~
楽茶会
- 24日(土)13時40分~
映画「はたらく」



※各催しの参加費等は
会館までお尋ねください。

会館事務室から



